

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	直腸肛門奇形患児術後(女児総排泄腔遺残症も含めて)の再手術例の検討		
2. 対象患者	2017年4月から2019年8月まで当科において直腸肛門奇形(女児総排泄腔遺残症も含めて)術後に再手術を行った患者さん 7名		
3. 対象となる期間	2017年4月1日 ~ 2019年8月31日		
4. 実施診療科等	弘前大学小児外科		
5. 研究責任者	氏名	平林 健	所属 弘前大学小児外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	直腸肛門奇形症例(女児総排泄腔遺残症も含めて)の手術成績は向上しつつあります。しかしながら、症例によっては排便障害が残り、社会生活に支障をきたしている患者さんも少なくありません。今回は、再手術例を検討し、再手術が必要となった原因を検討し、治療の一助にしたいと考えます。		
8. 研究の目的	2017年4月から2019年8月までの当科において術後に再手術を行った7例の、既往、手術時年齢、手術術式、術後の排便機能を検討し、再手術に陥った原因を検討いたします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	診療録を利用し、性別・手術時年齢・手術術式・既往を検討し、再手術に陥った原因を検討します。		
10. 個人情報の保護	患者個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、対象者のデータは削除いたします。ただし、拒否の申し出があった時点で既に学会発表や論文として掲載済の場合、公表後の内容を修正することはできません。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院小児外科 平林 健		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080